

※※ 2007年2月改訂 (第6版)  
※ 2005年4月改訂

日本薬局方

日本標準商品分類番号 87314

規 制 区 分
処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

# アスコルビン酸注射液 カラシミンC注射液 25% Carashimin C Injections 25%

承認番号	20200AMZ00324000
薬価収載	1990年3月
販売開始	1990年3月

貯 法	遮光冷所保存
使用期限	外箱、アンプルに表示

## 【組成・性状】

### 組 成

カラシミンC注射液 25%は1管 (2mL) 中アスコルビン酸 500mg 及び添加物としてピロ亜硫酸ナトリウム 3mg、L-システイン塩酸塩 3mg、パラオキソ安息香酸メチル 2mg、炭酸水素ナトリウムを含有する。

### 製剤の性状

カラシミンC注射液 25%は無色透明なガラスアンプルに入った無色澄明な注射液で浸透圧比は約 10、pH は 5.6~7.4 である。(浸透圧比：生理食塩液に対する比)

## 【効能・効果】

1. ビタミンC 欠乏症の予防及び治療 (壊血病、メルレル・バロー病)
2. ビタミンC の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給 (消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、はげしい肉體労働時など)
3. 下記疾患のうち、ビタミンC の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合。
  - (1) 毛細管出血 (鼻出血、歯肉出血、血尿など)
  - (2) 薬物中毒
  - (3) 副腎皮質機能障害
  - (4) 骨折時の骨基質形成・骨癒合促進
  - (5) 肝斑・雀卵斑・炎症後の色素沈着
  - (6) 光線過敏性皮膚炎
3. の適応に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

## 【用法・用量】

アスコルビン酸として、通常成人 1日 50~2,000mg を 1~数回に分けて静脈内注射する。  
なお、年齢、症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

- (1) 臨床検査結果に及ぼす影響
  - 1) 各種の尿糖検査で、尿糖の検出を妨害することがある。
  - 2) 各種の尿検査 (潜血、ビリルビン、亜硝酸塩)・便潜血反応検査で、偽陰性を呈することがある。
- (2) 適用上の注意
  - 1) 投与経路
    1. 経口投与が困難な場合や緊急の場合、また、経口投与で効果が不十分と考えられる場合にのみ使用すること。なお、経口投与が可能で効果が十分と判断された場合には、速やかに経口投与にきりかえること。
    2. 静脈内注射にのみ使用すること。
  - 2) 投与時  
静脈内注射により、血管痛があらわれることがあるので、注射速度はできるだけ遅くすること。
  - 3) アンプルカット時  
本剤はワンポイントカットアンプルを使用しているため、丸印マークを上にして両側に引っばるよう下方に折り曲げカットすること。なお、異物の混入を避けるため、アンプルカット直前にカット部分をエタノール綿等で清拭してカットすること。

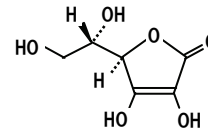
## 【薬効薬理】

- ・マウス線維芽細胞でコラーゲン中のプロリンからヒドロキシプロリンへの水酸化過程に関与し結合線維成分であるコラーゲン合成を促進することが示されており<sup>1)</sup>、血管、骨、皮膚などの脆弱化を防止して出血傾向の抑制 (マウス)<sup>2)</sup> や骨折の修復を促進 (モルモット) する。
- ・アスコルビン酸欠乏時に肝のγ-アミノレブロン酸合成酵素活性が低下し、ラット肝マイクロソームの P-450 量も低下することから薬物代謝への関与が示唆されている<sup>3)</sup>。
- ・ラットでエピネフリン投与によるストレス負荷時に副腎での好酸球減少や皮質内層でのステロイドホルモン、アスコルビン酸の減少を抑制する<sup>4)</sup>。
- ・in vitro でチロシンからメラニン生成反応の酸化過程を阻害し、メラニン色素の沈着を抑制する。

※※

## 【有効成分に関する理化学的知見】

構造式：



一般名：アスコルビン酸 (Ascorbic Acid)

化学名：L-threo-Hex-2-enono-1,4-lactone

分子式：C<sub>6</sub>H<sub>8</sub>O<sub>6</sub>

分子量：176.12

旋光度：[α]<sub>D</sub><sup>20</sup>：+20.5~+21.5° (2.5g、水、25mL、100mm)

pH：本品 1.0g を水 20mL に溶かした液の pH は 2.2~2.5 である。

性状：アスコルビン酸は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、酸味がある。水に溶けやすく、エタノール (95) にやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

融点：約 190°C (分解)

※※

## 【取扱い上の注意】

### 安定性試験<sup>5)</sup>

最終包装製品を用いた長期保存試験 (冷所、3年) の結果、カラシミンC注射液 25%は通常の市場流通下において 3年間安定であることが確認された。

※※

## 【包装】

2mL×200管

## 【主要文献】

- 1) Levene, C. I. et al. : Biochim. Biophys. Acta, 257, 384(1972)
- 2) Lee, R. E. : J. Nutr., 72, 203(1960)
- 3) 力石サダ：ビタミン, 56(4), 177(1982)
- 4) Bacchus, H. et al. : Science, 113, 269(1951)
- 5) 鶴原製薬株式会社 社内資料

## 【文献請求先】

鶴原製薬株式会社 医薬情報部

〒 563-0036 大阪府池田市豊島北1丁目16番1号

TEL : 072-761-1456 (代表) FAX : 072-760-5252



製造販売元  
**鶴原製薬株式会社**  
大阪府池田市豊島北1丁目16番1号

(TC10-64 14-1412)  
A412-S